

# 科目区分：情報処理科目

授業科目名	情報処理入門					学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Computer Sciences							
担当 教官名	修行 稔	単位数	2 単位	必修 選択	必修	前期	金曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>世の中のすべての事象は情報処理である、と言えるほどに情報処理という言葉の指し示す範囲は広いが、勉学や研究活動という面から見ると、コンピュータをこれらにどう援用するかが第一の課題である。コンピュータは電磁気現象を利用して動く機械(ハードウェア)と、それを制御して仕事をさせる命令の集まり(ソフトウェア)とが一体となって動いている。その基本的原理をある程度理解しておくことが、柔軟な情報処理能力を養うためには極めて重要である。</p> <p>この観点から、本科目ではコンピュータのしくみと動作原理をできるだけ平易に解説する。また、コンピュータの中でのデータの動きを実感してもらうため、一部の時間を実習にあてる。コンピュータ・ソフトウェアの代表であるエディタ(本講義では mule を使用)が使いこなせ、ファイル操作の応用としての簡単な言語処理ができるようになることが目標である。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
教科書は用いない。適宜、資料を配布する。								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
T 2 2 B	レポート 50%、期末試験 50%の割合で評価する。							
授 業 計 画								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . はじめに</li> <li>2 . コンピュータにおけるデータ表現</li> <li>3 . コンピュータシステムの構成要素</li> <li>4 . 基本的な回路</li> <li>5 . ソフトウェアの働き</li> <li>6 . ファイル(データの集まり)の作成と編集(実習)</li> <li>7 . 電子メール(実習)</li> <li>8 . アルゴリズムと言語処理概説</li> <li>9 . 言語処理の実習</li> </ol> <p>情報処理に関しては、専門科目の方でも1年次から講義が行われる。本講義はその専門科目と連携して、お互いに内容を補完する形で進める予定である。電子情報の集合であるファイルの概念が実感的に理解でき、ファイル操作の応用としての簡単なプログラム言語の処理ができるようにするため、半分の時間を実習に充てる。</p> <p>オフィスアワー(質問受付時間) 講義終了後 15 分および教官室において随時。</p>								